



## クラブ訪問

259

### 「剣道を通じて人として成長」

#### 成邱剣志会

私たち「成邱剣志会」は、毎週月・木・金曜日に三里塚小学校や遠山小学校の体育館で活動しています。小学生から高校生までが一緒に稽古していて、上級生は下級生を思いやる気持ちを、下級生は年上相手に果敢に挑む気持ちを養っているのが特長です。稽古は、面・小手・胴を打つ基本練習から相手の動きに合わせて技を出す応用練習まで行っています。



一瞬の隙を見て小手打ち



年上相手にも果敢に挑む



はやせ みお  
早瀬 美桜 主将(6年生)

これまで勝てなかった相手から一本を取れた時は、とてもうれしいです。中学校でも剣道を続けたいです。

クラブで大切にしているのは「剣道を通じて、人として成長する」こと。一本を取るためには体力や技術のほかに、強い気持ちが大切です。そのため、稽古中は力いっぱい大きな声を出し、年上相手にも気後れすることなく向かっていくようにしています。また、先生からは「感謝の気持ちを常に持つように」と言われています。普段の稽古はもちろん、県外での合同稽古や大会に参加できるのも家族の協力があるからこそ。この感謝の気持ちを常に忘れずに剣道に取り組んでいます。クラブでのこうした積み重ねがあることで、日常生活でもさまざまなことに挑戦できるようになったり、自然と感謝を伝えられるようになったりして、人として成長することができていると感じています。目標は全国大会出場です。剣士として、また人としても成長できるようこれからも頑張ります。

# なかまと一緒に

257

「共感してもらええる一首を」

はなみずき短歌会



何でも話し合える大切な仲間



活発な意見交換



情景を想像して

私たち「はなみずき短歌会」は、毎月第2火曜日に成田公民館で活動している短歌のサークルです。

短歌は五・七・五・七・七の三十一文字で構成された詩です。見た物や感じたことを題材にするので、自分が作った短歌を並べてみると日記のようになり、過去の出来事や当時感じていたことを振り返ることもできます。

活動では、メンバーが事前に作ってきた短歌を一首ずつ読んでいき、どのような情景をどのような思いで作ったのかを想像して意見を出し合います。全作品が一枚の紙に印刷されていないところが私たちの活動の面白いところ。作者は作った時の感情に共感してもらえようという意見が出ると短歌に込めた思いが伝わっていると確認ができて、うれしく思います。

また、参考になる意見もたくさん出てくるので表現の仕方の勉強にもなります。意見が出そろったところで作者が発表され内容の解説をしますが、意外なメンバーが作っていて盛り上がることも。三十一文字の短い詩ですが、読み手によっていろいろな受け取り方をされるのが短歌の面白さでもあり難しさでもあります。意見交換をしていると、短歌とは違う話題に脱線してしまうこともあります。そのおしゃべりがまた活動の楽しみの一つになっています。

秋には、名所旧跡などを散策しながら短歌を作る吟行会を計画しています。全員が同じ題材で短歌を作るので、どのような作品が生まれるか今から楽しみです。

# スクスクのびのび

521



ひらやま うた 平山 詩ちゃん

うつ伏せの練習中! 髪の毛もぐんぐん成長してます♪



すずき あやと 鈴木 彩翔くん(左)・陽也くん(右)

にこにこ笑顔の仲良い兄弟★これからも仲良くしてね!

このコーナーには市内在住で5歳までのお子さんの写真を掲載しています。お気に入りの1枚が撮れましたら、ぜひお寄せください。

○応募方法 お子さんの写真・住所・氏名(ふりがな)・生年月日・性別、親の名前、電話番号、30字以内のコメントを郵送またはEメールで広報課へ。専用フォーム (<https://logoform.jp/f/zXEWw>) から応募できます

○応募先 〒286-8585 花崎町760 成田市役所広報課 [koho@city.narita.chiba.jp](mailto:koho@city.narita.chiba.jp) (写真データはJPEGで容量1MB以上で送ってください)

○問い合わせ先 広報課 ☎20-1503



専用フォーム